

JISA 関東地区会 開催報告

令和 7 年 11 月 6 日（木）、山梨県甲府市のシャトレゼホテル談露館において令和 7 年度関東地区会が開催された。参加者は関係者含め 48 名であった。



関東地区会
代表幹事
井上 清美氏

冒頭、関東地区会 代表幹事（株式会社ブリリアント 代表取締役）井上 清美氏が開会の挨拶を行った。「関東地区会は昨年も同会場にて開催させていただき、甲府では 3 回目の開催となります。JISA 会長、副会長並びに多くの方々の参加を賜り、大変光栄に存じます。ぜひ時間が許す限り地元甲府を楽しんでいただきたいと思います」と述べた。

次に、JISA 副会長（株式会社野村総合研究所 取締役会長）此本 臣吾氏が挨拶を行った。「今年から JISA の副会長を拝命しました。アメリカでは AI も人材として扱う人事制度を始めた会社もあり、変化の始まりの年のように感じています。リニアモーターカーが実現すれば品川山梨間も 20 分程度で行き来でき、今後の発展に期待できる土地で、皆様とお顔合わせできたことを光栄に思っております」と述べた。



JISA 副会長
((株)野村総合研究所
取締役会長)
此本 臣吾氏



JISA
副会長・専務理事
高橋 淳氏

続いて、JISA 副会長・専務理事 高橋 淳氏が「日本経済の展望と中小企業のデジタル化促進のために」という演題で講演を行った。講演では、岸田政権、石破政権から高市政権へと重要課題がどのように変遷してきたかを俯瞰しつつ、「岸田・石破両政権ともに賃上げ対応・中小企業政策、並びに DX・デジタル政策は継続的に重視していた。高市政権ではトーンは微妙に変化しように見受けられるが、賃上げ環境整備の観点からも、中小企業政策は依然として政府の中心課題である」と指摘。

「我が国の DX 推進と成果の実感が伸び悩んでいる中、二大障壁であるカネとヒトの問題については政府の中心政策である補助金と支援機関の活用を勧めたい。とりわけ IT 導入補助金



を中心として中小企業への補助金メニューはかつてないほど充実しており、皆様におかれましてもぜひご活用いただきたい」という言葉で講演を締めくくった。

講演会の後は懇親会が開催された。最初に津軽三味線の演奏があり、JISA 福永 哲弥会長（SCSK(株) 参与 シニアフェロー）が乾杯の挨拶を行い、歓談へと移った。

JISA 副会長（株式会社ワイ・シー・シー 代表取締役社長）長坂 正彦氏の中締めで盛会のうちに閉会した。



懇親会の様子

（事務局）